

第13回宝塚市子ども議会

質問・要望事項への対応状況について



平成25年（2013年）2月

宝塚市

目次

1 グループ 震災復興支援 「僕たち私たちが小さな事からできること」・・・1

宝塚小学校	6年	大脇 ひかる
西谷小学校	6年	平井 真次郎
雲雀丘学園小学校	6年	仙田 修子
高司中学校	3年	平 敦嗣
宝塚西高等学校	2年	上村 慶太
雲雀丘学園高等学校	2年	牛田 秀朗

2 グループ ハッピースクール 「学校の未来を考えよう」・・・3

長尾小学校	6年	上西 隆輝
西谷小学校	6年	西本 美月
末広小学校	6年	伊藤 慧
安倉北小学校	6年	田中 千尋
中山五月台中学校	3年	藤岡 大輝
養護学校高等部	3年	家門 伸晃

3 グループ TEP∞ 「みんなが遊べる日本一の公園」・・・6

宝塚小学校	6年	浅野 そら
西山小学校	6年	川崎 豪
西山小学校	6年	佐谷 真歩
末広小学校	6年	山田 香恋
すみれが丘小学校	6年	永木 園乃
雲雀丘学園小学校	6年	大西 雄
南ひばりが丘中学校	3年	小山 翼

4 グループ 子ども環境政策課 「宝塚市のいい環境づくりについて」・・・7

長尾小学校	6年	西條 航
逆瀬台小学校	6年	市村 汰樹
逆瀬台小学校	6年	安宅 光平
安倉北小学校	6年	光國 温己
すみれが丘小学校	6年	永木 莉乃
宝梅中学校	3年	西田 健一郎

担当部：都市安全部（総合防災課）、環境部（新エネルギー課）

グループ名	震災復興支援	テーマ	僕たち私たちが小さな事からできること
質問・提案内容（あらし）と答弁後の対応			
<p><small>しつもん ていあん</small> 質問（提案）：</p> <ul style="list-style-type: none">復興支援のボランティア活動では、私たち子どもは、何をしたらよいかわからなかったり、小学生ではできないボランティア活動があります。ボランティアに参加してみたいという気持ちがあっても、現地での活動は小学生では難しいのが現実です。参加したい小学生もいると思うので、参加できるような取り組みを考えてください。			
<p><small>とうべん</small> 答弁：</p> <p>現地のニーズにしっかりとそくした、より良い支援のあり方を今一生懸命検討していますので、きっと皆さんのご協力が必要になってくると思います。そのときにはお願いをしたいとしますのでぜひともご協力をお願いします。皆さんには、現地子ども達に元気や希望を与えられるような交流の機会があれば是非参加していただきたいとします。これからもアイデアがありましたら是非ともお寄せくださいますようお願いいたします。</p>			
<p><small>ご たいおうじょうきょう</small> その後の対応状況：</p> <p>答弁した内容のとおりです。</p> <p style="text-align: right;">（総合防災課）</p>			
<p><small>しつもん ていあん</small> 質問（提案）：</p> <ul style="list-style-type: none">武庫川などの広大な敷地を使って、水車を設置して水力発電でエネルギーを作ることにはできませんか。原発に頼らない自然を使ったエネルギーを作っていくことが大切だと思います。			
<p><small>とうべん</small> 答弁：</p> <p>宝塚市にあるさまざまな自然の活用を図り、皆さんの目に見えるような形で皆さんに紹介できる日が一日でも早くくるようにがんばります。今後、たくさんアイデアを皆さんからいただいたり、市民を中心とした安全安心な自然エネルギーを作っていきたいので家庭でもそのような話をしていただきご協力をお願いしたいとします。</p>			
<p><small>ご たいおうじょうきょう</small> その後の対応状況：</p> <p>答弁した内容のとおりです。</p> <p style="text-align: right;">（新エネルギー課）</p>			

しつもん ていあん
質問（提案）：

・小学校や中学校は避難場所なので、きちんとした設備が必要です。避難場所やその設備についても明確にして、子どもにもわかるようにしてほしいです。

とうべん
答弁：

避難場所については、災害の危険箇所や避難所の位置などを分かりやすく表示した防災マップを分かり易いように作り変えます。全戸に配布します。

ご たいおうじょうきょう
その後の対応状況：

今年度（平成24年度）末までに、災害の危険箇所や避難所の位置などを分かりやすく表示した防災マップを作り直し、全戸に配布しますのでぜひ活用してください。

（総合防災課）

担当部課：子ども未来部（子ども家庭支援センター）、教育委員会

グループ名	ハッピースクール	テーマ	学校の未来を考えよう
質問・提案内容（あらし）と答弁後の対応			
<p><small>しつもん ていあん</small> 質問（提案）：</p> <p>・中山五月台中学校の意見は「冷水機、自動販売機を設置してほしい」です。夏は体育大会や部活動の練習があるので毎日お茶を1Lから2Lぐらいもって行っています。しかし、それでは足りない日があります。部活の用意などでかばんが重たくたくさんもって行くのはたいへんですので、冷水機、自動販売機の設定を考えてください。</p>			
<p><small>とうべん</small> 答弁：</p> <p>夏場は特に家から水やお茶をたくさん持って来なければならず、重たくて大変ですが、自分で必要な量を考え、家から持ってくるようお願いいたします。教育委員会としては、みなさんがさらに安全にお水が飲める方法について検討していきます。</p>			
<p><small>ご たいおうじょうきょう</small> その後の対応状況：</p> <p>答弁した内容のとおりです。</p>			
（教育委員会）			
<p><small>しつもん ていあん</small> 質問（提案）：</p> <p>・養護学校高等部の意見は「養護学校の施設の改善について」です。虫が入ってきても自分で逃げる事が出来ない友だちもいますし、授業にも集中出来ないのですべての教室の外側ドアにあみ戸をつけてほしいです。 また冬には冷たい水にたえられない友だちもいるので全ての教室、トイレから温水が出るようにしてほしいです。</p>			
<p><small>とうべん</small> 答弁：</p> <p>現在網戸が設置されていない教室についても、早速、学校と相談しながら整備していきます。手洗器に温水装置がされていない場所については、すぐに学校と相談しながら必要な場所について整備していきます。</p>			
<p><small>ご たいおうじょうきょう</small> その後の対応状況：</p> <p>あみ戸につきましては、学校と設置場所の相談をしながら、普通教室には9月に設置しました。温水器につきましても、学校と相談しながら設置場所、設置時期を協議し、普通教室2室に設置することを決定し、学校が冬休みになる12月に設置します。</p>			
（教育委員会）			

質問（提案）：

・長尾小学校の意見は「運動場を広くしてほしい」です。運動会の時に1268人が集まるので今の運動場ではとてもせますぎます。実際に保護者が発表を見ることができないこともありました。運動会の時は中学校などの広いグラウンドをかりられるようにしてください。

答弁：

中学校のグラウンドに行くまでの安全面のことや、準備や片付け、道具の運搬をどのようにするか、またグラウンドを借りる中学校の部活動や行事との調整などの課題もありますが、それらをどのように解決できるのか、教育委員会では、みなさんの思いがどのようにすれば実現できるか、いろいろと検討していきたいと思っておりますので、みなさんも学校で、友だちや先生と話し合ってみてください。

その後の対応状況：

答弁した内容のとおりです。

(教育委員会)

質問（提案）：

・安倉北小学校の意見は「学校のトイレについて」です。トイレはとても汚なくトイレに行くのが嫌になります。毎日一生懸命そうじをしていますなかなかにおいがとれません。みんながトイレに気持ちよく行けるようにトイレを改修してほしいです。

答弁：

みなさんがこれまでから、学校の決められた方法で、掃除に取り組んでくれていても、臭いが取れないとのことですので、一度専門の業者に掃除をしてもらうようにします。

なお、トイレの改修については、傷みの大きな学校から順番に整備するようになっています。

その後の対応状況：

答弁した内容のとおりです。

(教育委員会)

しつもん ていあん
質問（提案）：

・末広小学校の意見は「教室のテレビについて」です。テレビは授業で使う時があるのですが学校には50インチのテレビが3台しかありません。あと3台テレビを増やしてください。

とうべん
答弁：

学校で使う順番を調整してもらったり、これまでから教室にあるテレビを利用してもらいたいと思います。教材を見る方法として、コンピュータも利用できるので、色々と工夫して使いながら、学習してほしいと思います。

ご たいおうじょうきょう
その後の対応状況：

答弁した内容のとおりです。

(教育委員会)

しつもん ていあん
質問（提案）：

・西谷小学校の意見は「文庫本の追加」です。新しい文庫本が少ないので私たちが読みたい本が少ないです。文庫本を学校や西谷夢プラザの図書コーナーに増やしてください。

とうべん
答弁：

学校の中でどのように必要なかを考えて、毎年、買い揃えることとしていますので、充実した図書室となるよう、みなさんで置いてほしい本を選んで、先生に相談してみてください。

ご たいおうじょうきょう
その後の対応状況：

答弁した内容のとおりです。

(教育委員会・子ども家庭支援センター)

グループ名	TEP [∞] （ティー・イー・ピー・エイト）	テーマ	「みんなが遊べる日本一の公園」
質問・提案内容（あらし）と答弁後の対応			
質問（提案）： <small>しつもん ていあん</small> ・大前提として大きな公園を増やしてもらうこと。球技をしてもよいように高いさくをつくってもらうこと。遊具の種類を増やして、たくさんの遊具を設置すること。公園をバリアフリー化することの4つの提案の実行をよろしくお願いいたします。			
答弁： <small>とうべん</small> 公園利用者や公園の周囲の人たちと相談しながらボール遊びができるように話し合いを進めたり、市の持っている土地の空地に柵をしてボール遊びをできるようにするための取り組みも進めていますので、みなさんも楽しみにしてください。ボール遊びをする時には他の人に迷惑をかけないようにということも注意をしながら遊んでほしいと思います。 遊具の種類を増やしてほしいということについてですが、これについても公園を使用する他の人への配慮が必要ですので、遊具の周りに、ある程度スペースがないと本人がけがをしたり、他の人にけがをさせる可能性があるため、小さい公園では大きめの遊具を設置することができない場合があります。その中でもどのような工夫が出来るかを検討して行きたいと思います。 公園のバリアフリー化についてですが、公園を改修する場合は、できるだけバリアフリー化できるように取り組んでいます。 大きな公園を増やすためには、民間の宅地開発や大きなマンション開発の敷地の隣に既に公園がある場合には、これに隣接した形で公園を造ってもらい、二つあわせて広い公園ができるような指導をしたり、市の施設を整備し直す場合には、いっしょに公園を造ったりしています。 難しい問題もありますが、遊具を設置する場合は、使う子どもたちの気持ちになって、しっかりとその意見が反映されるようにして、小さい公園でも安全に遊べるようにする、そしてボール遊びもできるように工夫するなど、今後の魅力ある公園づくりを進めるなかで、しっかりと参考にさせていただきたいと考えています。			
その後の対応状況： <small>ご たいおうじょうきょう</small> 答弁した内容のとおりです。			
（公園緑地課）			

担当部課：環境部（生活環境課）、都市安全部（防犯交通安全課、道路建設課 道路管理課）、教育委員会

グループ名	子ども環境政策課	テーマ	「宝塚市のいい環境づくりについて」
質問・提案内容（あらまし）と答弁後の対応			
<p><small>しつもん ていあん</small> 質問（提案）：</p> <ul style="list-style-type: none">宝梅中学校前の通学路は、車が良く通る坂道なのに歩道と車道の間ガードレールがなかったり歩道がせまいので安全のために危険な箇所を改善していただきたいです。			
<p><small>とうべん</small> 答弁：</p> <p>安全対策につきましては、道路側溝の蓋がけや歩行者スペースをカラー舗装にして、少しでも歩行者が安全に通行できるように、学校の関係者や沿道の方々を含む地域の皆さまとともに考えていきます。</p>			
<p><small>ご たいおうじょうきょう</small> その後の対応状況：</p> <p>現地立ち合いを行いまして、道路沿いへの「スピードおとせ」の注意看板の増設と老朽看板の交換を行います。</p> <p>また、ガードレールにつきましては、歩くスペースが十分確保できませんので、ドライバーに対して、車道と歩道の区分を視覚的に見せるオレンジ色のポストコーンを平成24年度内に設置する方向で考えております。</p>			
（都市安全部 防犯交通安全課、道路建設課 道路管理課）			
<p><small>しつもん ていあん</small> 質問（提案）：</p> <ul style="list-style-type: none">逆瀬台小学校そばの通学路となっている階段は急で足の踏み場がせまきところどころくずれていて、ひやりとすることがあります。安全のために危険な箇所を改善していただきたいです。			
<p><small>とうべん</small> 答弁：</p> <p>今回現場を点検したところ、コンクリートが欠けていたり補修の必要な箇所がありました。逆瀬台小学校の先生方と現場を確認し、この夏休み中に補修を行います。今後においても、安全に通行していただけるよう、随時点検補修してまいります。</p>			
<p><small>ご たいおうじょうきょう</small> その後の対応状況：</p> <p>平成24年8月に階段やネットフェンスの補修を行いました。</p>			
（道路管理課）			
<p><small>しつもん ていあん</small> 質問（提案）：</p> <ul style="list-style-type: none">阪急中山駅から長尾小学校に向かう通学路は、車が多く通り、歩道もないためスクールゾーンにして安全にしたいです。			
<p><small>とうべん</small> 答弁：</p> <p>今回、ご提案いただいた通学路につきましても、スクールゾーンの設定を含め、一層の安全が確保できるように教育委員会と協議し、検討をしていきます。</p>			
<p><small>ご たいおうじょうきょう</small> その後の対応状況：</p> <p>答弁した内容のとおりです。</p>			
（防犯交通安全課）			

質問（提案）：

・逆瀬台小学校前の通学路と長尾小学校に向かう山本台1丁目の通学路では、登下校の際、犬のふんや尿が落ちていて、いやな気持ちになるので市で呼びかけをしていただきたいと思
います。

答弁：

犬のフンの後始末については看板を作って呼びかけたり、広報たからづかや市ホーム
ページで、マナー啓発を行っていきます。また、放置されたフンのそばにイエロー
カードを貼りつけ、地域ぐるみで犬のフンの放置を監視する「イエローカード作戦」
に取り組まれている地域もありますので、こうした取り組みも広めていきたいと考
えています。

今後とも、市民の皆さまと一緒に、犬のフンの放置のない綺麗な街になるよ
う、呼びかけなどを行ってまいります。

その後の対応状況：

犬のフンの後始末について、今年度についても啓発看板を希望される60以上の地域に設置
してもらい、犬の散歩をしている人へ呼びかけたり、毎年春に実施している狂犬病予防集合
注射各会場で飼い主の方にマナー啓発のグッズを配布しています。また、市ホームページや
広報たからづか平成24年9月号に掲載を行い、平成25年2月号においてもマナーを守って
もらうように呼びかけを行ないます。

(生活環境課)

質問（提案）：

・逆瀬台小学校の体育館トイレのつまりや宝梅中学校のトイレの給水管からの水漏れなどト
イレの老朽化が起きています。水の流れが悪かったり流したものが漏れ出したり、とても使
いづらいです。改修をお願いします。

答弁：

このように、日頃の点検・修理によって、トイレ環境の改善を行っていますが、傷
み具合によっては、修理で充分に対応できず、大がかりな改修工事を実施する必要が
あります。

各学校の改修工事は、傷みの激しい学校から順番に整備するようになっています。

その後の対応状況：

逆瀬台小学校の体育館トイレのつまりについては、体育館から周辺道路までの排水管のつ
まりを洗い流し使用できるようになりました。

また、宝梅中学校のトイレの給水管からの水漏れについては、既に修理が終わっていま
す。

(教育委員会)

質問（提案）：

・市民プールに行きたいのですが、市民プールは校区外で保護者同伴などという条件があり、簡単には行けません。ですので、自由水泳の日程や時間を増やしてほしいです。

答弁：

今年も夏休みが終わったあとに、保護者や先生方と、今年のプール開放事業について意見交換会を開催します。その時に、皆さんの自由水泳の日数や時間を増やしてほしいという気持ちをしっかりと伝え、話し合っ、それが可能かどうか、検討してみます。

その後の対応状況：

10月15日（月）に保護者や先生方と、今年のプール開放事業について意見交換会を行いました。その時に、皆さんの自由水泳の日数や時間を増やしてほしいという気持ちを伝えました。今後、保護者と学校と教育委員会で、小学校プールに関する課題とともに総合的に検討していきます。

（教育委員会）

質問（提案）：

・より国際平和を実現していくためには、中国や韓国の小学生と交流をしていくことが大切ではないかと考えています。例えば日本に住んでいる外国の小学生とその国の遊びを通して交流するような機会を学校でつくっていただけませんか。

答弁：

本市の学校には、外国の日本人学校に行かれています先生がいますので、その先生を通じて外国の子どもたちに手紙を出すなどの交流を図ることができるかも知れません。必要なことがあれば教育委員会も応援したいと考えています。

その後の対応状況：

11月に良元小学校で行われた「たからづか民族まつり」で、伊丹朝鮮初級学校の舞踊や演奏、神戸中華同文学校の舞踊をみたり民族衣装を着た人もいます。そういう体験から、外国の人や文化に興味をもった人もたくさんいると思います。

また、毎年12月に兵庫県から海外の学校との交流受け入れの調査があります。希望した学校には、外国の子どもたちが実際に来て様々な交流をすることができます。貴重な機会だと思うので、是非利用できるよう学校の先生と相談をしてください。

（教育委員会）